R374keikaku



様式第1号(第5条、第7条関係)

事業者取組計画書

令和5年1月30日

鳥取県知事 平井 伸治 様

届出者 住所 鳥取県倉吉市越殿町1409番地

氏名 鳥取中央農業協同組合

(法人にあっては、名称及び代表者の氏名)

印

鳥取県地球温暖化対策条例第8条第1項(第8条第4項、第9条第1項、第9条第3項)の規定により次の とおり提出します。

住所 (主たる事 業所の所在地)		鳥取県倉吉	市越殿町140	09							
氏名(名称及び	鳥取中央農業協同組合										
代表者の氏名)	代表理事組合長 栗原 隆政										
主たる業種		01 農業									
該当する	□ 鳥取県地球温暖化対策条例施行規則第4条第1号に該当する特定事業者										
事業者要件		□ 鳥取県地球温暖化対策条例施行規則第4条第2号に該当する特定事業者									
			鳥取県地球温暖化対策条例施行規則第4条第3号に該当する特定事業者								
			者以外の事業者								
計画期間		R4年	R4年 2月 ~ R7年 1月								
温室効果ガス の排出量等	HH: LLI	マム	基準	年度(実績)		目標	栗年度(計画) (c) 年度		地 海 ※		
切排山里寺 	191-111	排出区分		(3) 年度 (二酸化炭素換算)			(6) 年度 (二酸化炭素換算)		増減率		
	排出量	(1)	(- 70	4, 174	t			t	△ 3.6 %		
			電力量の削減目標を原油換算で72kl、電力量で240,000kWh(昼間)・								
目標設定の考え方 45,000kWh (夜間)に設定し、C02削減量は△151t とした。											
国界体がす 20						ī					
原単位当たり の温室効果ガ	用途区分	原単位の 指標	基準年度(実績)		目標年度(計画)		増減率				
ス排出量等	事務所	二酸化炭素換算 延床面積	11. 07			10.74			△ 3.0 %		
		二酸化炭素換算							%		
		二酸化炭素換算							%		
	原単位の目標設定の考え 方		基準年度の3%削減とした。								
寄与的取組	取組区分		目標年度(計画)								
			実数値			二酸化炭素換算の削減量			/		
	再生可能エネル	レギーの利用	(売電量)	794	kWh		0.4	t	/		
	による電力又は		(熱供給量)		GJ			t	/		
	再生可能エネルによる二酸化版 減の量等を表す	炭素の排出削	(購入量)		J			t			
	px〜2年寸でなり ロッノッノ購入								/ /		
	森林保全による の吸収量を表す		_	_	-		10. 0	t			
	電気、ガスそのギーの使用の台二酸化炭素の技等を表すものの	合理化による 非出削減の量	(購入量)					t			

	削減量等合計	(2)			1	0.4 t	V ∣				
差引排出量(1)-(2)			基準年度(実績)		目標年度(計	画)	増減率 (計画)				
				4, 174. 0 t	4, 01	2.6 t	△ 3.9 %				
	 ・各事業所の電気契約の見直し ・省エネを目的とした、照明のLED化 ・空調機の、省エネ対応品への更新 ・施設の合理化、公用車の集約 ・日常的な電力削減への行動の周知 										
年度ごとの具体的な取組及び措置の計画	年度	設備、対象	·、工程等	内容							
	令和4年	事務所		LED照明への更新、空調機の更新、施設の再編							
	令和5年	事務所		LED照明への更新、空調機の更新、公用車の集約							
	令和6年	事務所		空調機の更新、公	用車の集約						
地球温暖化対 策に資する社 会貢献活動	オフセット・クレジット(J-クレジット)の購入 (購入先:鳥取県中部森林組合、購入量:10 t)										
特記事項											

- 注1 該当する□には、レ印を記入してください。
 - 2 本計画書における温室効果ガス排出量は地球温暖化対策の推進に関する法律第21条の2第3項に規定する「温室効果ガス算定排出量」の算定方法と同様の方法により算定した量をいいます。
 - 3 本計画書は鳥取県内における事業活動について記載してください。
 - 4 主たる業種には、統計法 (平成19年法律第53号) 第2条第9項に規定する統計基準として定める日本標準産業分類 のうち中分類を記入してください。
 - 5 「基準年度」とは計画期間の前年度を、「目標年度」とは計画期間の最終年度をいいます。
 - 6 「原単位当たりの温室効果ガス排出量等」の「用途区分」には、○○工場、事務所などの用途を記入してください。「原単位の指標」には、分子の「二酸化炭素換算」の下に分母となる指標(生産数量、延べ床面積、走行距離等)を記入してください。
 - 7 「特記事項」には、平成2年度 (1990年度) を基準とした排出量の対比や省エネ製品開発など他者の温室効果ガス 排出削減への貢献、グリーン調達の採用などを記入してください。